

令和6年度の学校評価

＜本年度の重点目標＞			
1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善 2 自立と社会参加に向けた豊かな学びの実現 3 つながりのある教育活動の推進 4 安全で安心できる学校づくりの推進 5 働き方改革の推進			
学部	重点目標	具体的方策	留意事項
幼小学部	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末などを活用し、新しい生活様式に対応した内容・方法で、幼児児童の興味・関心を促す授業づくりを行う。</li> <li>・幼児児童がタブレット端末などのICT機器を活用して物事を調べることで、表現すること、余暇時間を過ごすことなどを通して、活用能力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動画を交えたり、プレゼンテーションソフトを使って見やすく示したりするなど、タブレット端末を活用した授業を行う。</li> <li>・幼児児童がICT機器を活用して学習に取り組む場面を授業に取り入れる。また、その際使い方や注意事項についても指導する。</li> </ul>
	自立と社会参加に向けた豊かな学びの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭と連携しながら、幼児児童の着替えに関する実態を捉え、個々に応じた支援を行う。</li> <li>・着替えの仕方や衣服の整理整頓に関する目標を月ごとに設定し、学年だよりや掲示板で保護者や幼児児童に周知していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着替えに関する学習に取り組んでいる幼児児童の様子を学年だよりや連絡帳で保護者に伝え、家庭でも意識できるようにする。</li> <li>・掲示板を活用し、教職員・幼児児童が着替えに関する共通の目標を意識して学習に取り組むことができるようにする。</li> </ul>
中学部	自立と社会参加に向けた豊かな学びの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身だしなみチェックカードを作製し、学級に配布する。</li> <li>・日常生活の指導の時間で身だしなみや服装の確認を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業着や運動着、制服など服装に合わせたチェックカードを用意する。</li> </ul>
	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとに建てる計画に「知識・技能」「思考・判断・表現力」「学びに向かう力」と「目標」を記載する。</li> <li>・単元終了時に学年で反省をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画や反省を保存するフォルダを作成する。</li> </ul>
高等部	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって学習に取り組めるよう、既習事項や生活経験などを基に学習内容を設定する。</li> <li>・自己の考えを広げ深められるよう、他者と協働し学び合う取組を様々な学習場面に取り入れる。</li> <li>・学んだことを意欲的に自己の生活や他の学習に活かそうとする姿を引き出せるよう、成功体験や充実感、達成感を得られる場面を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の生徒の適切な実態把握に努め、実態に合わせてより適当な指導目標、学習内容を設定できるようにする。</li> <li>・生徒一人一人の興味・関心、課題等に応じた学習環境を整えたり、お互いの考えを共有し合える場面を充実させたりする。</li> <li>・部会、学年会、授業担当者同士の話し合いを充実させ、職員同士が生徒の教育的ニーズなど、共通理解を図った上で指導にあたる。</li> </ul>
	つながりのある教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年や部などの縦のつながりを意識し、前年度までの学習歴、指導目標、達成状況を基に、生徒のよりよい成長を促すためのスモールステップでの目標設定を行えるようにする。</li> <li>・次年度以降に学びをつなげるための、生徒の実態、指導目標、学習内容の引継ぎ資料を充実させる。</li> <li>・校内実習、職場体験、産業現場等における実習などの体験的な学習において、地域との連携を密にとり、生徒の実践的な社会性を育てるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度までの学習歴を参考にし、学習内容や目標が系統的、段階的になっているかに留意して、個別の指導計画や年間指導計画等を作成する。</li> <li>・個別の指導計画、年間指導計画に加え、各授業における年間の学習内容をデータ化してフォルダにまとめるなどすることで、次年度以降、部の資産として全体で共有できるようにする。</li> <li>・生徒の実態や配慮事項、学習状況など、必要な情報の共有を密にとることで、関係先の生徒理解を深め、実習等の教育効果を高められるようにする。</li> </ul>
施設内教育 けやき	つながりのある教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医、病棟職員、その他関係諸機関との情報交換・共有や保護者との懇談などから児童生徒の実態把握に努め、指導・支援の充実を図る。</li> <li>・前籍校から個々の目標や実態に関する情報を、児童生徒の転入時に速やかに得るとともに、関わる職員全体で共有し、支援の在り方について検討する。</li> <li>・転出先職員と退院後の学校生活における有効な指導・支援等について連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談や各カンファレンスを通して児童生徒の実態把握に努める。</li> <li>・病棟職員と連携して児童生徒に関する情報共有を行う。</li> <li>・児童生徒転入時は、前籍校からの情報を整理して職員間で共有するよう努める。</li> <li>・退院前カンファレンス等を通して得た児童生徒に関する情報を転出先職員と共有するよう努める。</li> </ul>
	安全で安心できる学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難方法の周知を図るとともに、病棟や学校と連携した避難訓練を継続して行う。</li> <li>・捜索時のマニュアルの見直しを行い、病棟や学校と連携した訓練を行う。</li> <li>・施設内教育の児童生徒の実態や学習への取組、学習内容などについて本校職員に周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難方法の周知を図り、それを基に訓練を行う。</li> <li>・捜索時のマニュアルの見直しを行い、それを基に訓練を行う。</li> <li>・児童生徒の実態や取組等を本校職員に周知するため、通信を作成して回覧する。</li> </ul>
施設内教育 こばと・中央	つながりのある教育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の個々の目標や実態に関する情報を、保護者との懇談や前籍校からの情報を得て、関わる職員全体で共有する。また、主治医、病棟職員、その他の関係諸機関とも情報交換・共有して実態把握に努め支援の充実を図る。</li> <li>・退院後、卒業後の関係機関との情報交換をしてきまれない支援を図る。</li> <li>・こばと・中央学級の教育活動を本校の職員に通信などで周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時の保護者、病棟職員との受け渡しや連絡帳でのやりとりを基本にし、さらに定期的に行われる病棟職員との連絡会等やリハビリの見学等により連携を深める。</li> <li>・前籍校、卒業後の進路先と必要に応じて連絡を取る。</li> </ul>
	安全で安心できる学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒個々の状況を把握し、支援方法を職員間で確認・検討し安全に学習活動ができるようにする。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対応など感染症等の対策や危険な箇所があれば改善するなどして教室環境を保つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人一人の教育活動が円滑に行われるよう、職員間で情報交換をする。</li> <li>・職員の健康管理、手指消毒、教室環境の整備をする。</li> </ul>
各重点目標の具体的方策と留意点			
1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の改善			
担当分掌	具体的方策		留意事項
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動の教材・教具、課題のデータベースを充実させる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他業務の合間にデータベースの入力を行っていたが、校務分掌の時間に入力時間を設け、内容を充実させる。</li> </ul>
研修部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの研究の取組や年間指導計画などを生かし、「知識・技能」「思考・判断・表現力」「学びに向かう力」を意識した目標設定をし、授業づくりをする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元目標や本時の目標設定をする段階で、三観点を意識して入れるよう周知する。</li> </ul>
教務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に示されている育成を目指す資質・能力の三観点を意識した授業改善を図る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画様式の改善を含め、三観点を明確にし、意識して授業ができるように。</li> </ul>
2 自立と社会参加に向けた豊かな学びの実現			
担当分掌	具体的方策		留意事項
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員室内の自立活動掲示板やグループウェアを活用し、自立活動に関する情報提供を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な指導例や、自立活動主任会で共有された情報、研修案内などを提示する。</li> </ul>
研修部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立活動において、目標設定や学習内容の充実を図り、幼児、児童生徒の「生きる力」を育む。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修内容の充実をし、幼児、児童生徒へのよりよい支援について考えられるようにする。</li> <li>・外部講師などによる研修を実施し、専門性を向上させる。</li> </ul>

視聴覚部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の参考となるような書籍を含め、教員から購入希望アンケートを行い、購入計画に反映させるとともに、読書月間に特集が組めるよう計画し、蔵書の充実を図る。</li> <li>・グループウェアでの図書室だよりの配信や、掲示物を使った情報発信だけでなく、幼児児童生徒が参加する読書感想文をはじめとする企画や、栄養教諭と連携した給食の献立への反映など、読書活動を推進する企画を計画し実行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・購入の際は、教育活動に役立つかどうかを吟味する。</li> <li>・研修部と連携し、全校研究や各部の研究の参考となる書籍を優先して検討する。</li> <li>・本をそろえるだけでなく、読書に対する意欲が高まるような特集を計画する。</li> <li>・幼児児童生徒が進んで参加するような活動を心掛ける。</li> </ul>
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の社会生活、働くことに必要な力として、元気な挨拶や身だしなみ、健康管理・規則正しい生活リズムの定着、ルール・マナーの遵守、自立に向けての指導・支援を学校生活全般や作業学習、進路学習にて行っていく。</li> <li>・社会参加の第一歩として、幼児児童生徒が校外学習や職場体験、現場実習等を経験し、社会生活への意識を促していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活全般を通して体験的に身に付けられるような指導を行う。</li> <li>・地域の企業や事業所の協力を得て体験や見学の場を設定し、経験の機会を増やす。</li> </ul>
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの防止・早期発見を組織的・計画的に実践する。</li> <li>・「自分がされていやなことは、人にしない、言わない」を全校共通の約束として周知する。</li> <li>・「いじめ防止基本方針」に基づき、組織的・計画的な取組を実践するとともに、幼児児童生徒の変化を見逃さない迅速な対応をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ」の定義や認知についての共通理解を徹底する。</li> <li>・内容・計画等についての周知徹底を図る。</li> <li>・誹謗中傷等の間接的な問題においての連携を図る。</li> </ul>
<b>3 つながりのある教育活動の推進</b>		
担当分掌	具体的方策	留意事項
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業安定所や関係諸機関と連携し、企業及び福祉事業所を対象とした学校見学会や進路講話会を実施して学校の様子を知ってもらい、社会や地域への円滑な移行に向け、連携を強化する。また地域との連携や情報交換、移行支援に関する打ち合わせも進めていく。</li> <li>・保護者に向けて、進路講話会、説明会、進路掲示板、広報誌を通して情報発信に努める。教職員に向けた情報発信とともに本校の進路の流れ、事業所の形態や実態、どんな力が必要かについて知識を深めることができるように努める。職員研修会や学年会等で進路情報を発信したり、意見交換したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の関係諸機関との連携を密にして、協力を得ながら情報交換を積極的に行う。</li> <li>・掲示板の充実を図り、情報発信を行い、必要な情報が得やすい環境を整える。タブレット端末や職員室内の掲示板を活用し、情報を発信する。また、移行段階でのつまづきや課題、卒業生の進路情報・状況等を共有し、在校生への指導に生かせるようにする。</li> </ul>
地域支援部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発達について悩みをもつ保護者や、地域の小・中学校・高等学校等に対して、発達障害児等支援・指導検討会や巡回相談やあゆみ相談を行ったり、特別支援教育についての情報発信を行ったりして、センター的機能についての役割を果たす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援につながる資料や教材・教具を精選し、相談の内容に応じて提示できるようにする。</li> <li>・研修等を通して、相談業務へ対応できる情報や知識、職員の資質向上を図る。</li> </ul>
<b>4 安全で安心できる学校づくりの推進</b>		
担当分掌	具体的方策	留意事項
保健体育部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発生した事故事例やヒヤリハット事例などの情報提供と、学習環境の整備を進めることで、事故につながる危険因子ゼロを目指す。</li> <li>・食物アレルギーや食形態への個別対応、食に関する相談事業などをおして、食育指導と安心安全な給食指導について一層の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報の迅速な提供と共通理解、新たな取組などについての周知徹底を図る。</li> <li>・関係各所との連携を図る。</li> </ul>
総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学用品購入手続き（購入伺書と支出金調書の提出の仕方）が変更となるため、購入手続きの手順を提示して、学用品費の処理が円滑にできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学用品費の購入手続きにおいて、庶務部と連携をとりながら進めていく。</li> <li>・学用品の購入手続きの仕方を掲示して、いつでも確認できるよう準備する。</li> </ul>
地域支援部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉に関する情報を収集・発信し、活用できる地域の資源を提示したり、職員や保護者との連携を図るためケース検討会を行ったりし、各関係機関との連携に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を必要とする家庭へ各関係機関につなぎ、地域の資源を有効活用できるよう努める。</li> </ul>
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯・防災等緊急時に対する意識向上と対策の充実を図る。</li> <li>・訓練や現職研修の計画的な実践と内容等の工夫を通して、防犯・防災等緊急時に対する教育の更なる充実を図る。</li> <li>・校舎改修工事に合わせて、対応方法を変えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容・計画等について新たな取組の周知徹底を図るとともに、変更点について重点的に説明する。</li> <li>・校舎改修時期に応じて計画的に連携を図る。</li> </ul>
<b>5 働き方改革の推進</b>		
担当分掌	具体的方策	留意事項
保健体育部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校行事であった運動会を幼小中学部と高等部に切り離し、規模を縮小するとともに、開催時期を5月から11月に移行することで、年度初めの多忙化を解消させる。</li> <li>・校務部会において、業務の合理化という観点を盛り込んだ業務計画の立案・審議ができる雰囲気醸成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演技の内容や種目の精選、年間指導計画の変更などを同時に進める。</li> <li>・職員の負担軽減とともに幼児児童生徒にとっての達成感や充実感が損なわれないように工夫する。</li> <li>・前年度の反省を有効に活用する。</li> </ul>
視聴覚部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Teamsやグループウェア、その他ICT機器の利活用を促進し、会議や打ち合わせ等の負担軽減や、授業での機器利用の利便性を向上させる。</li> <li>・必要な機器について職員アンケートを行い、更新される機器に意見を反映させてより利便性を高める。</li> <li>・ホームページの更新作業が簡単になるという、CMSというシステムに切り替える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修部と連携した全校規模の研修や、小規模な講習会等、計画を立てて様々な形で実施する。</li> <li>・意見の方向性を見て、より必要とされる機器を選定する。</li> <li>・更新作業を簡易にすることで、担当者の負担を軽減するだけでなく、更新作業ができる人員を増やす。</li> </ul>
総務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備の定期点検確認表の点検項目の見直しや点検表の入力がしやすいように改善を図る。</li> <li>・屋外の校庭（15か所）のみを点検する担当者をなくし、異状な状態に気が付きやすいように、日常的に使用する担当者を割り振る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火気取締責任者一覧を基本に、点検箇所の担当者を決める。</li> </ul>
教務部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画の様式を検討して改善を図る。</li> <li>・教務関係書類を精査する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内で統一した様式の検討と改善を図る。</li> <li>・教務関係の提出書類について精査し、簡略化または、内容の検討をして書類作成の負担が軽減できるようにする。</li> </ul>
学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部評価表による本年度の評価結果</li> <li>・保護者アンケートの結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援システムの活用、関係マニュアルの整備等により業務の効率化やスリム化を図る。</li> <li>・業務の適正化及び教職員のメンタルヘルスの保持に努める。</li> </ul>